

みんなとともに笑顔いっぱい - 「101」新たなステージへ -



みんなとともに



とても素敵な歌声が音楽室から聞こえてきました。4年生が2年担任石川の指導を受けていました。先日は、6年の家庭科を1年担任中村が指導し、養護教諭の芝崎が生活リズムの話をしていました。4年の算数科は5年担任佐藤が指導し、高学年の理科は教務主任の早川が指導しています。また、協力員の富田も複数学年に関わっています。このように本校職員皆で子どもたちの力を高めています。



「感染リスクが高い学習活動」を再開しています

学校再開にあたって当面の間とりやめていた「感染リスクが高い学習活動」の再開が可能となりました。これは、県教育委員会の通知を受けて、市教育委員会から指示があったものです。

本校においても今週から再開していますが、「学校行事」については「感染防止策（三つの密の回避など）」を講じる必要から“検討課題”となっています。

【感染リスクが高い学習活動】（例）

- ・ 音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
- ・ 家庭科における調理などの実習
- ・ 体育科における子どもが密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
- ・ 子どもが密集して長時間活動するグループ学習

※ 修学旅行など宿泊を伴う学校行事を実施する際の留意事項は、改めて通知があるとのこと。

「消毒作業ボランティア」への協力 ありがとうございます

消毒作業の「SOS」を出したところ、22名の方からボランティアの申し出がありました。本当に助かりました。その分、職員は「子どもに向き合う仕事」をさせてもらっています。

もし、ほかにも「不定期」で協力してくださる方がいましたら、都合のよい日の午後3時30分に保健室へお出ください。なお、汚れてもよいようにエプロンなどの用意をお願いします。

月	火	水	木	金
7人	6人	7人	6人	6人

週1~2回 お願いしています。



【校長のつぶやき】 その32 「松の剪定」

緊急事態宣言期間中、土日は「STAY HOME」をしていた。我が家の庭（実は市の公園用地扱いの土地）には手入れを親任せにしている「松」があるのだが、真似事でもしてみようかと思い、初めて剪定作業に挑戦してみた。

作業は「みどり摘み」というもので、「松の新芽」を取る春の作業である。園芸用の三脚脚立に上がって上の方から順に作業を進める。自分に近いところの作業は楽だが、遠いところは手がなかなか届かない。そして、次第に慣れてきて「後もう少し」と手を伸ばした瞬間、脚立はバランスを失い足から離れていった。枝にぶら下がり「九死に一生（大げさか）」を得たが、人には見せられない情けない姿であった。

今まで「松」など全く関心なかったのだが、この体験後から「松」が気になってしかたがない。人の家の庭にある松を見ては、全体の形や枝ぶりを見て感心している。

でも、「手入れ」は大事である。一朝一夕にはあの形はできない。将来を見据えた「剪定」作業と、春の「みどり摘み」初冬の「揉み上げ」など毎年の細やかな作業の積み重ねの結果であろう。「ん、これは“子どもの教育”にも言っているかも…」とも思ったが、「松」の話である。ご自宅に“自慢の松”があったら、ぜひ教えてほしいものである。

※ 裏面「いまここ学習室の再開について」の文書を確認してください。